

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年12月2日(2021.12.2)

【公開番号】特開2020-110412(P2020-110412A)

【公開日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-029

【出願番号】特願2019-4153(P2019-4153)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月25日(2021.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

始動記憶にもとづく特図変動表示ゲームの開始タイミングより前に、当該始動記憶に対応した結果に関連して予告演出をおこなう遊技機がある。このような予告演出の1形態として、当該始動記憶に対応した結果に関連して保留記憶表示の表示態様を変更する保留予告演出がある。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、遊技者の保留予告演出に対する注意が散漫になることがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

1つの側面では、本発明は、保留予告演出に対する遊技者の関心を高めることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するために、以下に示すような、遊技機が提供される。遊技機は、ゲームの実行権利として始動記憶を記憶し、該始動記憶に対応するゲームの結果に関連して該始動記憶に対応した保留表示の表示態様を変更して保留予告演出を実行可能であって、第1表示部と、第2表示部と、第3表示部と、保留表示視認不能手段と、制御部と、を含む

。第1表示部は、ゲームを表示可能である。第2表示部は、所定表示を表示可能である。第3表示部は、保留表示を表示可能である。制御部は、保留表示視認不能手段により保留表示が遊技者に視認不能とされていない場合に、所定表示と保留表示の対応関係を報知する対応関係報知表示を、第1表示部及び第3表示部に表示可能である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

1 態様によれば、保留予告演出に対する遊技者の関心を高めることができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゲームの実行権利として始動記憶を記憶し、該始動記憶に対応するゲームの結果に関連して該始動記憶に対応した保留表示の表示態様を変更して保留予告演出を実行可能な遊技機であって、

前記ゲームを表示可能な第1表示部と、

所定表示を表示可能な第2表示部と、

前記保留表示を表示可能な第3表示部と、

前記保留表示を遊技者に視認不能とする保留表示視認不能手段と、

前記保留表示視認不能手段により前記保留表示が遊技者に視認不能とされていない場合に、前記所定表示と前記保留表示の対応関係を報知する対応関係報知表示を、前記第1表示部及び前記第3表示部に表示可能な制御部と、

を含む遊技機。